



2017年12月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社エナリス 証券コード：6079

CONFIDENTIAL

本資料は営業提案を目的にエナリスが作成したものです。その正確性及び完全性に関し責任を負うものではありません。
また本資料の権利はエナリスに属し、無断で複製または転送などを行わないようお願い致します。

2017年12月期 第3四半期 業績比較

	2016年 12月期 第3四半期 累計 (前期)	2017年 12月期 第3四半期 累計 (今期)	前期比	増減額
売上高	48,525	39,980	△17.6%	△8,544
営業利益	445	846	+90.1%	+401
経常利益	56	738	+1210.6%	+681
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△560	750	-	+1,311

(百万円)

2017年12月期 第3四半期 概要

- **売上高**は、「代理購入サービス」から「エネルギーエージェントサービス」へのスキーム変更（※7ページ参照）等により、前年同期に比べ8,544百万円減少
- **売上総利益**は、電力卸取引において取扱電力量が拡大したことにより調達単価が下落し、売上高総利益率が改善したこと等を要因として、3,010百万円増加
- **営業利益**は、前年同期比90.1%増の846百万円、**経常利益**は、前年同期比1210.6%増の738百万円
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、特別利益として受取補償金219百万円を計上したこと等により、750百万円（前年同期は560百万円の損失）を計上

前年度末 貸借対照表 比較

	2016年 12月期末	2017年 12月期 第3四半期末	増減額
流動資産	13,439	19,654	+6,215
固定資産	7,533	7,432	△101
負債	18,521	23,723	+5,201
純資産	2,451	3,362	+911

(百万円)

- 流動資産は、対前年度末より
6,215百万円 **増加**
- 固定資産は、対前年度末より
101百万円 **減少**
- 負債は、対前年度末より
5,201百万円 **増加**
- 純資産は、対前年度末より
911百万円 **増加**

業界ハイライト

- 昨年4月の電力小売全面自由化を受けて、低圧分野における新電力への契約先の切替え（スイッチング）は、本年7月末時点で約404万件（約6.5%）と堅調に推移している。
- 2000年以降、順次自由化されてきた特別高圧・高圧分野における新電力のシェアは、昨年4月の全面自由化以降大きく伸びており、昨年7月以降は10%を越えている。
- 小売電気事業者の登録数は422者（2017年10月12日現在）。本年6月に供給実績のあった事業者312者のうち、販売規模が1億kWh/月以上の事業者は17者あり、エナリスグループもその一つ。

（資源エネルギー庁「電力小売全面自由化の進捗状況」（2017年10月24日）等より引用）

2. 部門別売上実績

部門別売上実績

		2016年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	2017年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
エネルギー マネジ メント 事業	小売電気事業者向け 需給管理サービス	509	795	+55.9%	+285
	エネルギーサービス	39,130	27,431	△29.9%	△11,698
	その他	177	22	△87.0%	△154
	計	39,817 (4.2%)	28,249 (6.9%)	△29.1%	△11,567
パワー マーケ ティング 事業	電力卸取引	7,820	11,670	+49.2%	+3,849
	電源開発	887	60	△93.2%	△826
	計	8,707 (8.5%)	11,730 (9.0%)	+34.7%	+3,023
合 計		48,525	39,980	△17.6%	△8,544

※エネルギーマネジメント事業内のその他にはHEMS・MEMS等を含みます。

(百万円)

3. 顧客別サービス区分による売上実績

顧客別サービス区分による売上実績

	2016年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	2017年 12月期 第3四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
法人需要家向けサービス (エネルギーエージェントサービス)	39,307 (3.4%)	27,454 (4.8%)	△30.2%	△11,852
新電力事業者向け サービス	8,330 (8.9%)	12,465 (13.2%)	+49.6%	+4,134
その他	887 (35.1%)	60 (57.6%)	△93.2%	△826
合 計	48,525	39,980	△17.6%	△8,544

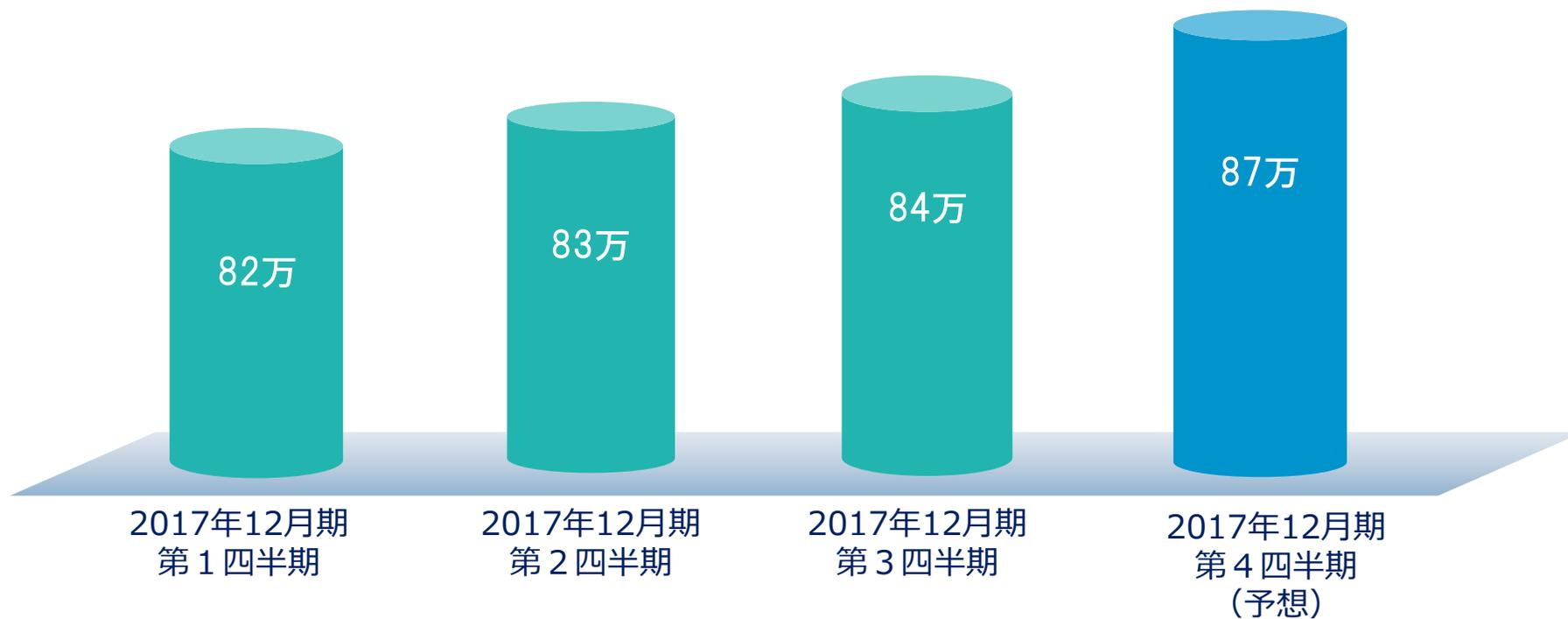
(百万円)

- ※法人需要家向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“エネルギーサービス”と“その他”です。
- ※新電力事業者向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“小売電気事業者向け需給管理サービス”と
パワーマーケティング事業の“電力卸取引”です。
- ※その他は、パワーマーケティング事業の“電源開発”です。

4. エネルギーエージェントサービスの進捗

エネルギーエージェントサービスにおける管理電力

(単位：kW キロワット)



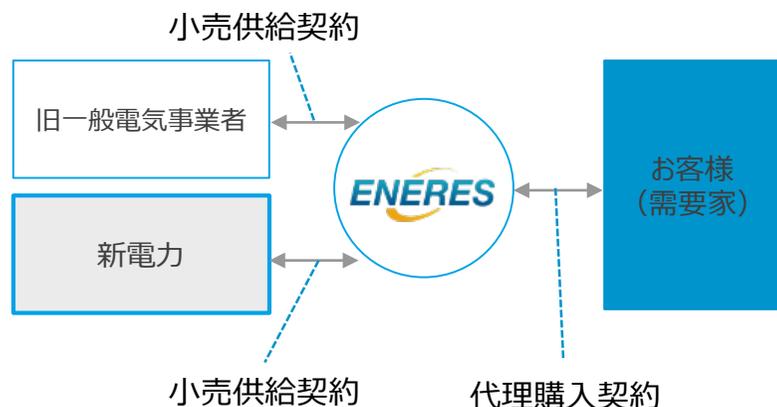
「電力の小売営業に関する指針」の制定による「電力代理購入サービス」から「エネルギーエージェントサービス」へのスキーム変更にともない、売上高に影響が生じています（利益面への影響はありません）。

スキーム（契約形態）の変更～収益モデルの変化

< 変更前 >

事業名	部門名	サービス名
エネルギーマネジメント事業	エネルギーサービス	電力代理購入サービス
		FALCON SYSTEM販売
		その他

- 顧客への電力供給（旧一般電気事業者と新電力）のフロントとして電力を一括管理し、顧客より電力代理購入サービス料金を得る



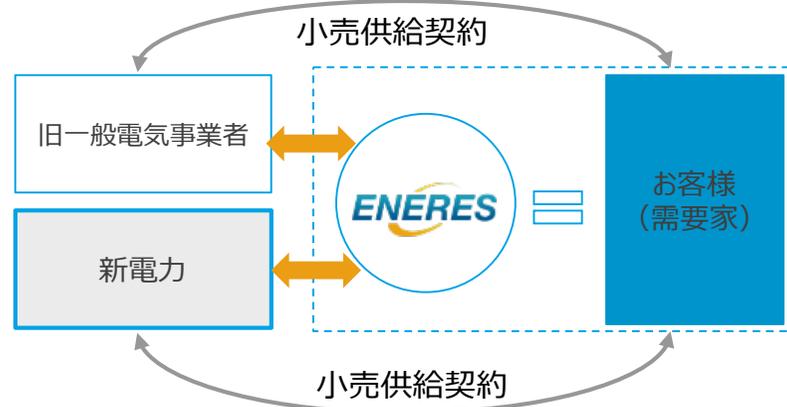
※当社の新電力は、エナリス・パワー・マーケティング、湘南電力、S-CORE

< 変更後 >

事業名	部門名	サービス名
エネルギーマネジメント事業	エネルギーサービス	エネルギーエージェントサービス
		FALCON SYSTEM販売
		その他

- 小売供給契約の主体は新電力と需要家（顧客）となり、顧客に代わって、新電力との料金交渉や料金請求等を取りまとめて行う

⇔ 契約手続き代行、料金請求取り纏め、料金交渉など



「電力の小売営業に関する指針」(平成28年1月 経済産業省)にて、電気事業法の規制の対象外と整理された【需要家代理モデル】を踏襲したスキームへ変更